

2015年1月28日

花粉シーズン直前！2月上旬に花粉飛散開始の見込み 花粉観測機『ポールンロボ』を全国の家庭・病院・企業へ続々出荷中 ～今年は火山灰や黄砂など浮遊粒子のモニタリングを強化～

株式会社ウェザーニューズ（本社：千葉市美浜区、代表取締役社長：草開千仁）は、本格的な花粉シーズンを前に、独自に開発した花粉観測機『ポールンロボ』を飛散開始時期が早い西～東日本から順次発送しています。一般の方とともに花粉症に立ち向かう「花粉プロジェクト」を2005年から実施しており、今年も全国のご家庭や病院、企業、学校に約1,000台の『ポールンロボ』を設置していく予定です。『ポールンロボ』は、空気中に含まれる花粉量を計測し、観測値に応じて目の色を5段階で変化させる花粉観測機です。現在や過去の観測値は、スマホアプリ「ウェザーニューズタッチ」の花粉対策コンテンツ『花粉Ch.』のほか、インターネットサイト「ウェザーニューズ」や携帯サイトを通して、『ポールンロボ』の設置が完了した場所から順次公開しています。今年の花粉の飛散量は北～東日本ほど多く、特に関東では昨年の2～3倍となる見込みです。飛散開始時期は2月上旬の予想で、九州や関東など早いエリアから順に花粉シーズンに突入する見込みです。また、『ポールンロボ』は花粉以外の微細な粒子も観測できるため、今年は火山灰や黄砂などの浮遊粒子のモニタリングも強化する予定です。

『ポールンロボ』による観測データこちらから

スマホアプリ「ウェザーニューズタッチ」をダウンロード後、『花粉Ch.』にアクセス	スマホ向けwebサイト「ウェザーニューズ」から『花粉Ch.』にアクセス http://weathernews.jp/s/pollen/	インターネットサイト「ウェザーニューズ」の『花粉Ch.』 http://weathernews.jp/pollen/
--	--	---

◆ “目”を光らせて花粉の飛散量を伝える『ポールンロボ』

『ポールンロボ』は、直径15cmほどの球体で人の顔に見立てられており、人の呼吸と同じ量を吸引するように設定されているため、実際に人間が空気中で吸い込む花粉量を計測することができます。また、設置場所は風通しが良く、雨が直接当たらない軒下などになるため、より生活に身近な場所の観測データが得られます。

『ポールンロボ』は、花粉の飛散量によって花粉が飛んでいない状態の「白」から、「青」「黄」「赤」「紫」へと5段階で目の色が変わるため、設置者やその周辺の方は一目で花粉飛散量を確認することができます。また、観測データはインターネット回線を通じて無料で公開されるため誰でもご覧いただけます。また、“花粉飛散量”だけでなく気温、湿度、気圧、空気中のダストも観測し、気象状況と花粉飛散の関係の調査に役立てられます。今年は、春先に多い黄砂や火山灰などの浮遊粒子のモニタリングを強化するとともに、昨年引き続きPM2.5も試験的に観測していく予定です。

設置の様子



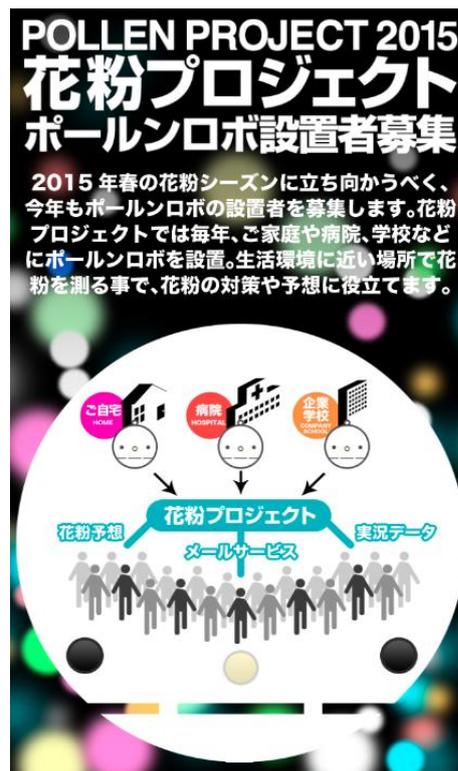
～花粉観測機『ポールンロボ』の目の色の変化と飛散数の目安～

花粉観測機『ポールンロボ』					
目の色	白	青	黄	赤	紫
飛散数/日	0～29 個	30～99 個	100～199 個	200～299 個	300 個～

◆みんなで花粉症に立ち向かう「花粉プロジェクト 2015」

「花粉プロジェクト」は、一般の方々と一緒に花粉症に立ち向かうために2005年から実施している取り組みです。「花粉プロジェクト」では、全国のご家庭・病院・企業・学校などに花粉観測機『ポールンロボ』を設置していただくとともに、花粉症の方から毎日の症状をご報告いただきます。

『ポールンロボ』からウェザーニュースに自動送信される花粉飛散量は無料で公開しています。花粉の飛散量は予報センターが常に監視しており、1時間ごとや週間の花粉飛散予報、花粉飛散開始のアラームや個人の症状に合わせた対策の通知サービスなどに活用されます。さらに、観測データや花粉症の症状報告は花粉プロジェクトに参加している医療機関や一般企業にも提供され、花粉症の研究に役立てられます。花粉飛散量の確認や通知サービスの登録を希望される方は、スマホアプリ「ウェザーニュースタッチ」や携帯サイト、インターネットサイト「ウェザーニュース」の『花粉Ch.』をご覧ください。



POLLEN PROJECT 2015
花粉プロジェクト
ポールンロボ設置者募集

2015年春の花粉シーズンに立ち向かうべく、今年もポールンロボの設置者を募集します。花粉プロジェクトでは毎年、ご家庭や病院、学校などにポールンロボを設置。生活環境に近い場所で花粉を測る事で、花粉の対策や予想に役立てます。

花粉プロジェクト
 花粉予想 メールサービス 実況データ